

第30回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月23日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第30回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・疲れが出てくる頃、健康管理に注意すること。

○村井災害対策本部長

・仮設住宅について、プレハブ建設協会に第一弾として1万戸要請し、建設適地を市町を回って調査してきたが、第一次着工分として千戸程度決定した。

・候補地の選定については、津波の被害を受けた沿岸市町を優先し、造成工事等が不要で早期に着工が出来ること、下水道ライフライン引き込みに時間を要しないこと、建設戸数がまとまって確保できることを考慮した。

- ・必要な戸数を確保するには、相当な時間を要すると考えている。

・早期の仮設住宅の確保が困難な為、入居決定にあたり高齢者、障害者、妊婦、乳幼児の家庭を優先すること。

・地域のコミュニティを配慮した入居を実施してもらうよう市町村にお願いしている。

・民間賃貸住宅や公営住宅を利用したり、一時的に県外の二次避難施設に集団で避難

してもらおう等、さまざまな手だけを実施していきたいと考えているが、必要な仮設住宅については、必ず準備をして参りたいと考えているので、被災者の皆様にはご理解いただきたい。

○小野寺危機管理監

- ・死者4, 978名, 行方不明者5, 196名。
- ・昨日開設した避難者相談ダイヤルは、501件の問い合わせ。避難者名簿に記載されていた方が87件。石巻、気仙沼、女川、南三陸が問い合わせの9割を占める。
- ・昨日、東京都が宮城県に被災地支援現地事務所を開設した。

○東京都

- ・昨日到着し、自治会館の二階に現地支援事務所を設置した。東京都としては、被災地復旧復興に向けて全面的に支援するというスタンスなので、何かあったら連絡をいただきたい。

○仙台管区气象台

- ・冬型の気圧配置だが、概ね晴れ。悪天は予想されていない。明日朝の最低気温はマイナス1～マイナス4度。26日まで高潮に注意。鮎川港の満潮は18:39、明日の朝は5:28が満潮時。
- ・今朝、7時過ぎ、最大震度5強の地震が2回福島県浜通りで観測されている。引き続き余震や津波に関する情報にご注意願いたい。

○小泉環境生活部長

- ・ペット関係の被災動物救護本部を設置。

○岡部保健福祉部長

- ・医療救護班が3チーム増え、活動してもらっている。
- ・避難所へのインフルエンザ等の蔓延恐れあるので、3名の医師で亘理町、山元町等の避難所巡回調査、指導に入ってもらっている。今後の対策を検討し周知してもらおう。
- ・福島と合同で、国民健康保険、後期高齢者医療制度についての要望を国に行う。

○河端経済商工観光部長

- ・軽油ドラム缶120缶を公共施設等に配送する。

○竹内警察本部長

- ・遺体安置状況、総数5,714体（前日より107増）引き渡したご遺体は3,142体、引き渡し率55%。
- ・推察される氏名を更新しており、1,279人が搭載されている。

○消防庁

- ・緊急消防援助隊1,582名で活動中。

○海上保安庁

- ・船艇54隻、航空機19機を展開し、捜索、漂流物の回収を行っている。
- ・潜水海底捜索を女川、気仙沼、石巻で実施予定。

○東北電力（株）

- ・停電状況→ 3月22日 18時00分現在 13万8,534戸
3月23日 8時00分現在 13万8,200戸
- ・がれきが大量に流れ込んだ変電所が3ヶ所あり、そのうち仙台港、多賀城は自

衛隊が除去活動に入った。感謝申し上げる。

○教育委員会

・資料では被害額540億円となっているが、最新の情報では600億円。この被害額は学校関係だけなので、今後関係施設を加えると被害額は膨らんでくると思われる。

・本日15時、県立高校合格発表実施。17時に2次募集の内容について公表する。

・県立高校11校が避難所になっている。円滑に新学期が迎えられるように準備を進めている。

・被害が大きかった市町村の教育委員会に対して、県として支援していく必要があるが、どのようなニーズがあるのか、これから具体的に調整していきたい。

○千葉病院局長

・特に変更なし。

○伊藤企業局長

・大崎広域水道事務所関係3箇所（小牛田、南郷、涌谷）については、それぞれの下水タンクへ送水を開始している。

・仙南仙塩広域水道については、一箇所、蔵王の下水タンクに送水を開始している。

○村井災害対策本部長)

・まだまだ混乱しているが、当初に比べるとだいぶ落ち着き、政務官二人がいらっしやるので私たちの声が直接届くようになった。この体制を充実していただければと強く思う。

・自衛隊と米軍で調整所を設けていただいている。自衛隊にかなり負担がかかって

いるので、今後米軍の方たちにさらに入ってもらえるのであればと思っている。

・水がはけないところがまだ多数ある。排水を最優先でやっていただけないか。排水が悪く捜査が難航しているので、国交省、農水省にはポンプを全国的に集めて排水を最優先していただきたい。

○阿久津内閣府大臣政務官

・自衛隊、米軍の件については、防衛省・外務省と連絡等検討させていただく。

○村井災害対策本部長

次回は3月24日10時00分に開催する。